

東海自動車株式会社 広報・CSR推進課 〒414-8511 静岡県伊東市渚町2-28

TEL 0557-36-1111 FAX 0557-36-5482 <https://www.tokaibus.jp>



第26-3号

2026年6月23日

路線バス(乗合バス)の上限運賃変更認可の申請について

株式会社東海バス（本社：静岡県伊東市 社長：荒畑成雄）は、2026年6月19日（金）に、中部運輸局に対し、路線バス（乗合バス）運賃の上限運賃変更認可の申請を行いました。

なお、申請概要等につきましては、下記のとおりです。

ご利用いただいておりますお客さまには、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1 申請理由

東海バスは、2023年12月1日に路線バスを運行する全エリアにおいて、およそ26年ぶりの運賃改定を実施し、安全への投資やバス運転士の確保に必要な処遇改善、採用活動の強化などに努めてまいりました。

しかし、バス業界における深刻なバス運転士不足は依然として厳しい状況にあり、人財確保のための継続的な処遇改善の実施や老朽化した施設・設備の更新をはじめとする投資が必要となっています。さらには国内外の社会情勢による各種費用の高騰などにより、バス事業環境は厳しい状況が続くものと考えられます。このような事業環境において、今後も「安全・安心・快適」な輸送サービスの確保と交通事業者として路線網の維持・改善を継続していくため、2026年6月19日に路線バスを運行する全エリアにおいて運賃改定を実施したく、上限運賃変更認可の申請を行いました。

なお、上限運賃の平均改定率は17.7%で申請いたしましたが、今改定で実施する運賃につきましては、直近の経営状況や今後の投資計画、ご利用のお客さまへのご負担などをふまえ、初乗りは220円、その他は現行の実施運賃から約15%引き上げた運賃とさせていただく予定です。

2 申請概要

(1) 申請日

2026年6月19日（金）

(2) 運賃改定実施予定日

2026年10月1日（木）

(3) 申請対象路線

一般路線バス全路線（一部自治体自主運行バス路線等を除く）

(4) 上限運賃の平均改定率

17.7%

(5) 現行・申請運賃比較表

		現行運賃	今回申請	
			申請上限運賃	実施運賃(予定)
初乗り運賃		200円	230円	220円
定期券 (1ヶ月)	通勤	8,400円	9,660円	9,240円
	通学	6,600円	7,590円	7,260円
	通学ウィークデー	5,040円	5,800円	5,540円

※1 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

※3 初乗り運賃は、現金、I C同額です。

(6) 主な区間の現行運賃・改定運賃比較表

区間	片道運賃		通勤定期券(1ヶ月)		通学ウィークデー(1ヶ月)	
	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)
熱海駅～紅葉ヶ丘	360円	410円	15,120円	17,220円	9,070円	10,330円
伊東駅～逆川	320円	370円	13,440円	15,540円	8,060円	9,320円
下田駅～下賀茂	780円	900円	32,760円	37,800円	19,340円	20,500円
松崎～下田駅	1,520円	1,750円	63,840円	73,500円	26,490円	28,710円
修善寺駅～出口	540円	620円	22,680円	26,040円	13,610円	15,620円
三島駅～松本	330円	380円	13,860円	15,960円	8,320円	9,580円

※1 片道運賃は、現金、I C同額です。

3 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
実績年度(2024年度)		7,471千人	△443,171千円
平年度(2027年度、推計)	改定前	7,768千人	△1,006,648千円
	改定後	7,520千人	△656,507千円

4 これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

東海バスは、1999年に東海自動車(株)から分社し、以降、事業エリアごとに運営を行ってまいりましたが、分社から20年が経過し、この間の社会情勢の変化や地域人口の減少等により、各社の経営環境が厳しくなり、各社単独での事業継続が難しくなったことから、経営資源を一元化することにより、経営基盤を強化し、安定的な人材確保と柔軟な人員配置を図るため、2020年に5社を合併し、今日に至っております。

この間には、ダイヤの見直し、割引商品(フリーパス、回数券等)の改廃、営業所の統廃合による経費削減を図る等、さまざまな収支改善に向けた取り組みを行い、さらには、国庫補助路線化の推進等により、路線の維持を図ってまいりました。

今後につきましても、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進等により業務の効率化を図り、収支改善に努めてまいります。

5 安全対策への取り組み

東海バスでは、安全方針である「安全に、より安全に、もっとも安全に」を礎に、継続して安全目標を設定し安全対策に取り組んでおります。

具体的には、ソフト面においてはバス運転士の経験や業務状況にあわせた各種研修の実施により、法令に準拠した指導教育を強化しております。また、運行管理者への研修も充実させ指導スキルアップを図っております。

ハード面においては衝突防止補助システム「モービルアイ」の全車両への装備を完了したほか、ドライバー異常時対応システム（EDSS）などの先進安全装置を搭載した新車導入を推進しています。さらに安全補助装置として、既存乗合車両にはバスのバックカメラ映像を解析し後退時に動体・静止物への注意喚起を行う後方カメラ機能拡張システムの導入や厳格な点呼執行のための点呼支援システムの導入など、引き続き安全対策への投資を積極的に進めてまいります。

6 サービス向上の取り組み

東海バスでは、2008年に「安心サービス基準」を制定し、以降、積極的にCS活動を推進してまいりました。

また、2013年からは、「わかりやすいバス、乗りやすいバス」をスローガンに、さまざまな利便性向上の取り組みを行っております。取り組み内容としては、時刻表の全戸配布、バスの乗り方教室の充実、バスロケーションシステムの導入、デジタルサイネージの設置、MaaSへの参画（デジタルフリーパスの取り扱い）、案内所におけるクレジットカード・QR決済コードの取り扱い等です。

その他、国庫補助を活用した車両の更新や観光情報サイト「Izu Letters」の立ち上げ、また2022年3月には、全営業所において交通系ICカードの取り扱いを開始し、2025年9月には一部車両でクレジットカード決済の取り扱いを開始しました。さらに2025年2月からは、お客さまへの情報提供としてバスロケーションシステムを新規更新する等、積極的にサービス向上に取り組んでまいりました。

今後については、これまでの取り組みを継続し、観光需要に合わせ、観光地間を結ぶ路線の新設や観光路線の便数の増回により、移動手段の確保を図ってまいります。また、インバウンド旅行者等への対応として、バス停の更新を行い、その名称板にバスのピクトグラムの表示や多言語表記を行う等、さらなる「わかりやすいバス、乗りやすいバス」の推進を図ってまいります。

7 お問い合わせ

東海自動車株式会社 計画課 TEL：0557-36-1114

営業時間：9：00～17：40（定休日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始）

以 上

このニュースリリースに関するお問い合わせは、次の担当までお願いします。

東海自動車株式会社 広報・CSR推進課 日下部・榎本 TEL：0557-36-1111